

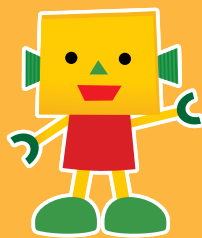
# わかすぎ

vol.149 2023.6



公益財団法人  
三重子どもわかもの育成財団  
三重県立みえこどもの城指定管理者

〒515-0054  
三重県松阪市立野町1291  
中部台運動公園内  
TEL0598-23-7735 FAX0598-23-7792  
ホームページ <https://www.mie-cc.or.jp>



財団のシンボルマーク

地域社会の大きな枝葉が、子どもや若者や家族を温かく包み込むように支えるマークとなっています。中心の円の三色はそれぞれ黄色は「子ども」、橙色は「若者」、青色は「家族」を表しており、地域社会とともに育成支援をしていこうという当財団の思いを表しています。

第44回  
少年の主張  
三重県大会

# 中学生のメッセージ2022

令和4年8月27日(土) 尾鷲市民文化会館(せぎやまホール)

令和4年度は県内 55 校から寄せられた 6,860 点の中から、最終審査に残った 14 作品の作者による発表を行いました。

それぞれ自らの経験による気づきと向き合い、自分自身の言葉で、思いをしっかりと伝えることのできた発表でした。

中学生が運営(司会・受付・案内・表彰アシスタント)に携わり、実践発表(太鼓演奏・ダンス発表・吹奏楽演奏)を行う規模の大会は3年ぶりでしたが、紀北地区実行委員会の皆さんや地元中学校が中心となり、心に残る大会が開催できました。

令和5年度は、桑員地区(いなべ市)で開催予定です。



運営協力中学生



司会



受付

## 中学生のメッセージ2022受賞者一覧



### 大切な私のふるさと

北村 遥香 さん 尾鷲市立尾鷲中学校 3年



### 同性じゃダメなの?

伊藤 直子 さん 皇學館中学校 2年

### 私の家族

上村 心音 さん 御浜町立御浜中学校 3年



### 楽しく利用するために

楠 依里香 さん 尾鷲市立尾鷲中学校 3年

### 「日本の現在 世界の未来」

井上 絢斗 さん 津市立朝陽中学校 3年

### 自分を、人を認める

辻 舞衣 さん 鈴鹿市立白子中学校 3年



### 一三四〇円の失敗

井上 響貴 さん 四日市市立朝明中学校 2年

### 継ぐ、繋ぐ。

寺浦 日花里 さん 紀北町立紀北中学校 3年

### 助け合い

新谷 春榮 さん セントヨゼフ女子学園中学校 3年

### 差別と区別

西川 心菜 さん 名張市立桔梗が丘中学校 3年

### 「出会いと交流」

曾我 果子 さん セントヨゼフ女子学園中学校 3年

### 地域の中で人とつながるために自分ができること

平地 明奈 さん 伊賀市立霊峰中学校 1年

### 障がいという個性と生きる文化

谷口 みこ さん 紀北町立潮南中学校 3年

### 感謝の気持ち

森上 那柚 さん いなべ市立藤原中学校 3年

## ご協力いただいた企業・団体様 (※五十音順、敬称略)

株式会社アーステックTAGAWA、伊賀ふるさと農業協同組合、石刈薬品合資会社、イセツ株式会社、伊勢農業協同組合、株式会社伊藤工作所、上野電工株式会社  
株式会社植村材木店、植村電設株式会社、有限会社岡井博進堂、岡三証券株式会社津支店、株式会社小倉表具店、尾鷲市川商工株式会社、おわせマルシェ  
海洋ゴム株式会社、有限会社カナタ産業、北村石油店、有限会社北村木材店、株式会社キハタトレーディング、紀北信用金庫、株式会社ぎゅーとら  
桑名三重信用金庫、グッディ、コスモスベリーズ松阪店、株式会社三十三銀行、株式会社紫宝創建、森林組合おわせ、JAバンク三重、医療法人慈心会  
スポーツショップワールド、瀬古食品有限会社、セレモニーホールせぎやま、株式会社げにや、多気郡農業協同組合、竹輝銅庵JSJT.CO.,LTD.、株式会社司  
株式会社寺下商店、東海印刷株式会社、東邦液化ガス株式会社、有限会社トータルインテリアタグチ、株式会社ナカムラ尾鷲、医療法人西村整形外科  
日本土木工業株式会社、野村證券株式会社津支店、株式会社橋本組、万協製薬株式会社、パイロットインキ株式会社、有限会社ひぐち文具店、株式会社百五銀行  
株式会社平野組、有限会社プラスサポート、保険企画サポート24、株式会社松阪電子計算センター、有限会社松本水道、みえ熊野古道商工会  
一般社団法人みえ熊野古道JAPAN、公益社団法人三重県医師会、公益社団法人三重県歯科医師会、特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会  
一般社団法人三重県薬剤師会、三重交通株式会社、三重コニックス株式会社、南建設有限会社、有限会社山室石油、理想科学工業株式会社、株式会社リンクフジカワ

最優秀賞



主張発表の様子



最優秀賞受賞者のコメント

最優秀賞を受賞できたことをとてもうれしく思います。練習の成果が出てよかったです。



表彰式の様子

運営協力中学校

司会・受付・案内・表彰アシスタント 紀北町立潮南中学校、紀北町立三船中学校

実践発表 紀北町立赤羽中学校（太鼓演奏）  
紀北町立紀北中学校ダンスチームMP（ダンス発表）  
尾鷲市立尾鷲中学校吹奏楽部（吹奏楽演奏）

デザイン画最優秀賞 紀北町立紀北中学校 2年 浅野 薩貴さん

デザイン画協力中学校 尾鷲市立尾鷲中学校、尾鷲市立輪内中学校  
紀北町立紀北中学校、紀北町立赤羽中学校  
紀北町立潮南中学校、紀北町立三船中学校

審査委員 ※敬称略、順不同

審査委員長 国立大学法人三重大学 教育学部長 伊藤 信成

審査委員 三重テレビ放送株式会社 常務取締役 間野 丈夫  
尾鷲市教育委員会 教育長 出口 隆久、紀北町教育委員会 教育長 中井 克佳  
三重県小中学校長会 幹事(松阪市立嬉野中学校 校長)山下 隆久、三重県PTA連合会 常任幹事 奥川 雅弘  
三重県私学協会(津田学園中学校・高等学校 教諭)植村 奈津子  
三重県教職員組合 中央執行副委員長 鈴木 佐知、三重県子ども・福祉部 次長 西崎 水泉  
公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 副理事長 水元 正



デザイン画展



審査会の様子



太鼓演奏



ダンス発表



吹奏楽演奏



大人からの応援メッセージ展

令和4年度 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団表彰

子ども若者の育成支援にご尽力いただいた方々を表彰しています。本年度は、個人の部(青少年)1名、(青少年指導者)6名の方の表彰を行いました。受賞者の皆さまには、今後益々のご活躍を期待します。おめでとうございます。

受賞者紹介 ※敬称略

個人の部(青少年)

明和町 たかやまのあ 高山 野亜

平成28年から三重県スポーツ少年団リーダー会の役員としてリーダー会を牽引されてきた。今年度は2度目の会長として組織をまとめ、新しいリーダーの育成に尽力されている。

個人の部(青少年指導者)

明和町 なかせまさみ 中瀬 正実

明和町青少年育成町民の会に所属し、平成17年から3年間副会長、平成21年から会長として現在も青少年の健全育成活動の指導者として活動されている。さらに明和町人権を守る会会長、明和町社会教育委員として、講演会の開催や会報の発行など幅広く活動されている。

明和町 たどころとしひこ 田所 敏彦

明和町青少年育成町民の会の大会校区育成会において、長年、青少年の健全育成や非行防止活動に積極的に参加されている。また、本部活動での全地域パトロールなど、多くの活動に貢献され、現在も幅広く活躍されている。

伊勢市 たなかのぶみつ 田中 信光

平成5年から旧二見町青少年育成町民会議の会長職に就き、青少年の見守り、非行防止活動を熱心に取り組みされてきた。平成17年の伊勢市との合併後も役員を歴任され、現在も伊勢市青少年育成市民会議の会長として健全育成活動の中心的存在となっている。

度会町 なかむらかいち 中村 嘉一

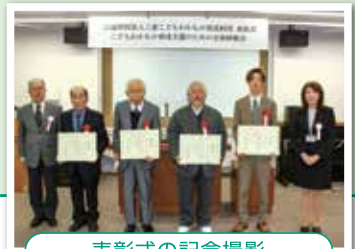
長年にわたり、地域の子どもの安全安心を守るために尽力し、毎朝の登校時間、夕方の下校時間には、交通安全に配慮するだけでなく、子どもたちの様子まで見守りをされており、地域の子どもの大人たちからも絶大な信頼を得ている。

尾鷲市 たなかようこ 田中 洋子

平成24年から地域の見守り隊として、活動を続けられている。また、その活動とは別に、地区の不登校児童の対策として関わり始めたことがきっかけとなり、自宅近くの子どもたちを、毎朝学校まで送り届けるなど尽力されている。

紀北町 あげちみつる 疇地 充

紀北町青少年育成協議会の前身である海山町青少年育成町民会議に平成3年から所属し、会長をはじめ、主要役員を歴任された。「虫おくり」等、長きにわたり各種事業に積極的に参加され、青少年の健全育成に多大な貢献をされている。



表彰式の記念撮影

## 活動紹介

県内の各青少年育成市町民会議では、青少年の健全育成を目的とし、様々な活動をしています。今回は4つの市町をご紹介します。

### 桑員支部

### 東員町青少年育成町民会議

東員町青少年育成町民会議は、昭和53年の発足以来、今日に至るまで学校、家庭、地域との連携を図り、様々な活動を行っています。

新型コロナウイルスの影響により、令和2年度、3年度の2年間は、多くの事業が中止となる中、青少年育成町民会議では、現状課題と従来の活動内容を検証し、新たな組織体制に向けて協議を重ねました。

令和4年度から、青少年を取り巻く環境の変化と課題に積極的に取り組むため、従来までの固定的な家庭教育部会、環境対策部会、啓発部会のあり方を改め、新たに事業毎の部会を創設し、集中的で効果的な活動を推進していきます。

また、東員町スポーツ公園陸上競技場をホーム・スタジアムにしているJFLサッカーチームのヴィアティン三重とも連携を図り、ヴィアティン三重のロゴ入りビブスを作成し、連携を図りながら取り組みの幅を広げています。

今回はその一つを紹介させていただきます。

あいさつ運動の一環として、子どもたちが花の形をした付箋に、友達や先生、家族、地域の方へ感謝のメッセージを書き、紙に書いた木の幹に貼り付けて満開にしていく「ありがとうの花を咲かせよう運動」を行い、感謝の心の育成及び自己肯定感の育成に取り組んでいます。一つひとつの花に書かれたメッセージをみんなで共有し、感謝の気持ちがお互いに行き来する気持ちの良い環境を町内に広めています。

その他にも「わかもの未来WEB会議」の企画、「町民歩け歩こう会」の開催、更に非行防止では「サイバー犯罪抑止」の推進など、現代の青少年を取り巻く課題に積極的に取り組むよう企画しています。

このように、家庭・学校・地域社会が深く関わりあい、地域ぐるみで活動・交流を行うことで、東員町の宝であります青少年の健全育成に、より一層繋がるものと考えています。



### 三泗支部

### 川越町青少年育成町民会議

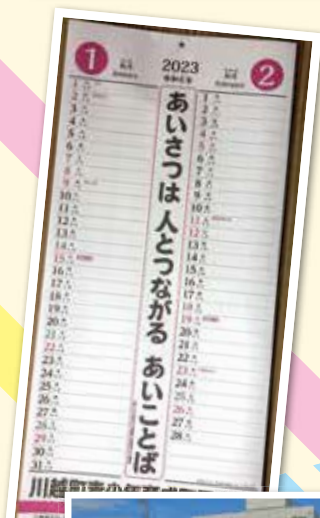
川越町青少年育成町民会議は、町内全10地区から推薦された青少年育成指導員や区長を始め、18の関係機関の代表で構成され、家庭教育環境部会、青少年育成部会、非行防止部会の3専門部会で活動しています。

「三世代ふれあい事業」は、各地区でグラウンドゴルフや餅つき大会、ウォークラリーなどを開催しています。例年1,700人もの方々に参加いただき、地域の皆さんが世代を超えて楽しくふれあう機会となっています。

また、町社会教育委員会とともに、地域全体のコミュニケーションを深める「あいさつ・声かけ運動」の普及に取り組んでいます。

ほかにも、地域ぐるみで子どもたちを犯罪被害から守るため、「子ども110番の家」看板の設置拡大を推進し、約600軒の方が協力してくれています。

新型コロナウイルスの感染拡大以降、地域活動から遠ざかってきた状況がもたらす影響もあるでしょうが、地域のつながりによって創出される子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進していきます。



## 松阪支部

## 松阪市青少年育成市民会議

松阪市は、市全体の本部と旧市町単位の5支部で構成されております。例年、非行防止パトロールや環境浄化活動などに取り組んでおりますが、この2、3年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの事業の実施を見合わせてきました。

令和4年度には、『あいさつ標語』の募集を行いました。笑顔があふれ、あいさつがこだまする街づくりを目指して、市内の学校や家庭、地域が一体となって、あいさつの輪を広げることを目的に3年に一度「あいさつ」に関する標語を募集しています。

今年度は、各児童生徒に配布されているタブレットを活用して実施いたしました。応募総数312点から最優秀賞等9点を選び表彰いたしました。

最優秀作品として「**あいさつは つながるひろがる まほうのことば**」が選ばれました。のぼり旗などを作成して掲出してまいります。

前回応募総数1,636点から、かなり減ってしまいましたが、応募いただいた作品は優秀なものが多かった印象です。



## 南勢志摩支部

## 南伊勢町青少年育成町民会議

南伊勢町青少年育成町民会議は、3つの地区部会と事業部会を中心に構成され、町の関係団体や機関と連携しながら、青少年の健全育成を推進する活動を行っています。

地区部会では、おもいで撮影会、夕闇テント広場、花火、標語コンクール、あじっこ集会等々、それぞれの地区部会が特色ある子ども体験行事を企画しました。

事業部会では、スポーツチャンバラ、和太鼓体験、工作教室、星空観察会を実施しました。これらの行事は、資料館や友の会、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会など、得意分野が異なる団体と協働したことで、参加した子どもがより楽しめる場になったように思います。

なかでも星空観察会は、コロナ禍が始まってから企画中止となっていた恒例の人気行事でしたが、今年度は再開することができ、主催者も感慨を覚えました。

今年度も子どもを取り巻く環境の変化に対応しながら、子どもの学びを育む活動を続けてゆきたいと思っております。





# 中・高・大学生がみえこどもの城で

## サイエンスフェスタ第1弾

### 「サイエンスひろば」

令和5年3月4日(土)、18日(土)、19日(日)

参加人数：4,059名

協力企業・団体：7団体

協力企業・団体スタッフ：136名

県内の中学校、高等学校、大学の学生が日頃学んでいる内容をもとに工作、体験、発表、展示などを行いました。学生からは、「子どもの考え方、ヒントの与え方などとても勉強になった」「子どもたちが苦労しながら一生懸命取り組んでくれてうれしかった」「今後に活かしたい」といった声が聞かれました。

協力：四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科、松阪工業高等学校、伊勢工業高等学校  
三重中学校・三重高等学校、皇學館大学、WDB株式会社エウレカ社  
松阪おもちゃの病院



ロボットを使って楽しくプログラムを学ぼう



松名瀬干潟の生物と触れ合おう



音の世界を覗いてみよう

## サイエンスフェスタ第2弾

### 「高校生☆プラネタリウムコンテスト」

令和5年3月12日(日)

県内の高校生が、個人やグループで、課題に沿ったプラネタリウム作品を制作し、みえこどもの城のプラネタリウムで発表しました。本選大会には9組37名が参加。発表した作品を様々なジャンルで活躍するプロの方々が審査して、最優秀賞および特別賞を決定しました。

ドラマ仕立てのものや、研究発表など多種多様・個性的な作品ばかりで、観覧した方からも「高校生の作品とは思えないくらい素晴らしい作品だった!」などの評価をいただきました。

参加校：神戸高等学校、津高等学校、松阪高等学校、伊勢高等学校、上野高等学校  
高田高等学校、三重高等学校

後援：三重県、三重県教育委員会 協力：県内スーパーサイエンスハイスクール指定校



受賞名	高校名	作品タイトル
解説部門 最優秀賞	学校法人高田学苑 高田高等学校 天文部	つれづれなるままに
番組部門 最優秀賞	県立伊勢高等学校 SSC 天文部	博士と学ぼう! 宇宙ゴミ!!
特別賞	県立上野高等学校 USSLab 部	魅力いっぱい の宇宙へ



## サイエンスフェスタ第3弾

### 「高校生☆プラネタリウムコンテスト最優秀作品の発表 & JAXA 職員岡田修平さん講演会」

令和5年3月21日(火・祝)

3月12日のコンテストで入賞した3組の高校生の作品発表と、三重県出身のJAXA職員 岡田修平さんによるロケットや宇宙、JAXAの仕事についての講演会を開催しました。

岡田さんは学生時代にみえこどもの城で開催していた「プラネタリウム解説コンクール」で最優秀賞を受賞された方で、その当時のエピソードや、JAXAを目指すきっかけなどについてもお話しいただきました。

講演後の岡田さんと学生たちの交流会では、将来の進路選択などについて熱心に質問する学生の姿が見られました。



# 大活躍

# しています!

わかもの  
社会参画  
応援事業



## お茶フェスタ

### 「伊勢茶を楽しん<sup>ちゃ</sup>茶お!」 令和4年9月4日(日)

三重県で生産されている「伊勢茶」を知って、飲んで、楽しめるイベントを開催しました。

高田短期大学の皆さんが作った紙芝居の披露、お茶の香り当てクイズ、手もみ茶体験、お茶刈り機の展示など、お茶づくしの1日でした。

「お茶屋カフェ体験」では、お茶の淹れ方を教えてもらった子どもたちが淹れたお茶をお家の人に提供し、一緒に飲んで楽しむ様子が見られました。



協力：高田短期大学 子ども学科、NPO 法人日本 cha 茶ちゃ  
後援：伊勢茶推進協議会

## 大学生の企画した手づくりイベント

### 「ワゴムカーをつくろう」

令和4年7月23日(土)

名古屋学芸大学でプロダクト(生産品、製品)デザインを学ぶ皆さんによる「ワゴムカーをつくろう」は今年で2回目の開催になりました。

学生の皆さんがデザインしたワゴムカーを子どもたちが一緒に組み立てて、舞台スペースの長いコースを走らせました!

輪ゴムの巻き方などによって走行距離が変わるので、そこがポイント。長距離を目指して何度も挑戦していました。

協力：名古屋学芸大学 プロダクトデザインコース



### 「たかたんあそびひろば」

令和4年12月17日(土)、  
令和5年1月21日(土)

保育・幼児教育を学ぶ高田短期大学 子ども学科の皆さんによる「たかたんあそびひろば」は、毎年大人気のイベントです。今年度は2日間に分けて開催しました。

楽しい劇の衣装や小道具、ゲームなどは全部学生の皆さんの手作り!

松ぼっくりや木の実を使った工作は、作った子どもも大満足で「お家で飾ります!」と嬉しそうな声が聞こえてきました。

協力：高田短期大学 子ども学科



### 「すずたんのおねえさんたちとあそぼう」

令和4年11月6日(日)

幼児教育を学ぶ「すずたん」の皆さんが『どうぶつたちの山』をテーマに、劇や音楽が盛りだくさんのイベントを行いました。

子どもたちは、かわいい動物がたくさん登場するデジタル紙芝居に夢中になったり、ペットボトルとビーズで楽器を作って演奏をしたり、普段はなかなかできない体験を楽しみました。

協力：鈴鹿大学短期大学部 こども学専攻 みやぎせみ



### 「えほんすいぞくかん」

令和5年1月29日(日)

皇學館大学ボランティアルームによる「えほんすいぞくかん」。絵本「にじいろのさかな」の読み聞かせの後、画用紙にウロコを貼って子どもがそれぞれイメージする虹色の魚を作りました。

協力：皇學館大学ボランティアルーム



# 子どもが主役! 「キッズスタッフ」始動!!

こどもの主体性を育む事業

## みえこどもの城「キッズスタッフ」について



紙ひこうき飛ばし大会



水まつり

県内の小学3年生から6年生までを対象に、子どもの主体性を育む事業として「キッズスタッフ」を実施しています。

令和5年に3年目を迎えるキッズスタッフは、子どもたちがイベントを企画し、運営し、参加する、子どもが主役の取組です。

令和3年度第1期から令和4年度第4期までに延べ49人がキッズスタッフとして参加、こどもの城でやりたいことを提案し、みんなで実現しています。



クリスマス宝さがしゲーム



ダンボール迷路

## 「キッズスタッフ」イベント開催までの道のり

### 1日目【自己紹介】

緊張からうまくしゃべれない子もいたが、アイスブレイクなどの時間を通して仲良くなり、徐々に自分の意見が言えるように。

### 2日目【ワークショップ】

みえこどもの城のボランティアさんや地域企業の人たちとのワークショップ体験を通じて、メンバーたちの「やってみたい!」が生まれる。

### 3日目・4日目【企画会議】

事前に学校の友達にどんなイベントをしてほしいかを聞き、プレゼンする子。アイデアをわかりやすく伝える方法などを、自分で考え行動するように。会議の中でイベントのお客さんから感想を貰いたいとの意見がでる。自分たちが発信するだけでなく参加者の意見を聞いて、より良いイベントにしようとする自発的に取り組む。



### 5日目【イベント開催】

自作したチラシを見て来てくれた学校の友達に楽しそうにイベントの案内をしたり、参加した小さい子にも優しく声をかけたりするなど、楽しみながらもスタッフとしての自覚をもって行動していた。

### イベント後も...

みえこどもの城に友達を連れて遊びに来てくれるように。キッズスタッフとして活動していることや担当職員のことを友達に紹介するなど、みえこどもの城の一員として行動する姿が見られた。



### キッズスタッフ担当職員より

会議では、企画をまとめるために試行錯誤を繰り返しながら話し合いを進め、企画が決まると展示物や参加賞を手作りしたり、チラシを作って参加者を集めたり。イベント当日は運営スタッフという立場をしっかりと自覚して活躍し、企画が成功した時の達成感キッズスタッフ全員から見てとれました。



### キッズスタッフの声

- 別の学校の友達ができた
- 〇〇ちゃんは大いしんゆう
- みんなと話し合う時間がたのしかった
- みんなで協力してイベントができた

### 保護者の声

- 勇気をもって話しかけることで楽しい時間を作ることができるということを学ばせてもらったみたいです。
- 1期から参加させていただき、キッズスタッフが自分の居場所になったようです。
- 聞く前に考えてみようという行動できるようになりました。
- 休みの日になるとこどもの城に行きたがるようになりました。知らない人とも友達になれると思えるようになり、家でテレビゲームをすることがほとんどなくなりました。



# 地域の企業団体と協働した事業も行っています！

## 第9回 キッズ☆おしごと広場

令和4年7月2日(土)、3日(日)、16日(土)、18日(月・祝)、  
23日(土)、24日(日)、30日(土)



参加人数1,848名／参加企業・団体 22企業・団体／  
参加企業・団体スタッフ101名／学生ボランティア49名

9回目となる「キッズ☆おしごと広場」は、引き続きコロナ禍での開催となり、23種のおしごと体験を7日間に分散し、全て事前申込で開催しました。

子どもたちはさまざまな体験に興味津々で「将来の夢の仕事を体験できてうれしかった」「警察の仕事に興味をもった。将来なれるようにがんばる」など楽しみな声がきかれました。



参加企業・団体 ※敬称略・50音順

株式会社あかり屋、旭電気株式会社、旭美容専門学校、イセツ株式会社、宇野重工株式会社、株式会社エスト、岡三証券株式会社  
株式会社JPF松阪事業所、下津醤油株式会社、有限会社深緑茶房、万協製薬株式会社、株式会社ボンタイム、松阪飯南森林組合&三重県松阪農林事務所  
松阪警察署、松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社、松阪市民病院、松阪地区広域消防組合 松阪中消防署、公益社団法人三重県歯科医師会  
コーヒーハウスひびうた&社会福祉法人三重県社会福祉協議会、一般社団法人三重県理学療法士会、三重コニックス株式会社、株式会社ミツイパウ・マテリアル

学生ボランティア

皇學館大学、鈴鹿大学短期大学部、高田短期大学、ユマニテク短期大学



三重県子ども虐待防止啓発事業



## オレンジリボンキャンペーン 2022 みんなのキモチとココロのこえ

令和4年11月1日(火)～30日(水)

10回目となる「オレンジリボンキャンペーン」は、「子どもの気持ちをきく」をテーマに、メッセージの募集や展示、啓発コーナーの設置などを通して1カ月間の啓発活動を実施しました。

オレンジワードハンティングにチャレンジ!



啓発ポスター

子どもが毎日の生活の中で感じたり、思ったりしている気持ちや、ふとため息をつきたくくなるような心の声と、大人から子どもに向けた応援メッセージを募集。集まった874枚のメッセージを「タメイキノキ」に仕上げました。

「タメイキノキ」展示



主催：三重県、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団

協賛：旭美容専門学校、株式会社エスト、株式会社三十三銀行、株式会社JPF松阪事業所、日本土木工業株式会社、株式会社ボンタイム、株式会社マサヤ  
松阪警察署、松阪市、公益社団法人三重県歯科医師会、特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会松阪支部、一般社団法人三重県助産師会  
三重県松阪農林事務所、一般社団法人三重県理学療法士会 ※敬称略・50音順



みえこどもの城ボランティアによる「マジックショー」

## 移動児童館

令和4年度は年間100回実施しました！

みえこどもの城では、県内各地にあそびを届ける「移動児童館」事業を実施しています。

令和4年度は、子どもたちの興味の幅がより広がるような体験ができるよう、地域のさまざまな主体と協働して、高度な創作活動や遊びを届けることができました。



プロの陶芸家による「おちゃわんづくり」

# 子どもたちに **ワクワク** を届けたい!

みえこどもの城では、より多くの子どもに笑顔とワクワクを届けるために、さまざまな工夫をこらしてイベントを実施しています!

## SWS 西日本キッズシアター

オリジナルのプラネタリウム幼児番組を新たに2作品作りました!



リニューアルしたプラネタリウムをよりたくさんの方に  
ご利用いただくために、みえこどもの城オリジナルの幼  
児向け番組を2作品、新たに制作しました。

宇宙の広さを感じられるのはもちろん、お互いの違い  
を認め合い友だちになっていく大切さや、一人ではでき  
なかつたこともみんなで協力すれば可能になると気づ  
いていく内容になっています。また、子どもたちにな  
じみのある歌が歌詞つきで出てきたり、キャラクター  
に声援を送ったり、参加しながらご覧いただけます。



もちろんスタッフによる今夜の星空案内もあります☆

これらの作品は令和5年度から団体向け番組として投影しますので、ぜひ、遠足等でご利用ください!

## イベントホール

よりたくさんの人に楽しんでいただけるよう、バリアフリーに取り組みました。

夏の体験型展示「探ソ〜!ダイナソー!!」 令和4年7月16日(土)~9月25日(日)



カラフルな恐竜と『ギシギシ揺れるつり橋』、『巨大なドリアン』な  
ど身体をいっぱい動かすことのできるアトラクション。延べ6,828  
名の子どもが恐竜探しの冒険スタンプラリーに挑戦してくれました!

より沢山の子どもの楽しんでもらおうと掲示物の英語表記や車イ  
スで入場できる工夫をして、バリアフ  
リーにも取り組みました!

連動イベントとして

【親子で化石レプリカづくり】や  
【恐竜すごろく】も開催しました!



## 団体予約

団体予約のページが分かりやすくなりました!

みえこどもの城では、保育園・幼稚園や  
小学校、子ども会などの大人数の受け入れ  
も行っています。体験内容についてお客様  
の希望を聞きながら調整し、滞在時間いっ  
ぱい楽しんでもらっています。

今年度からホームページが新しくなり、  
申込み方法が分かりやすくな  
りました!

ぜひ、みえこどもの城をご  
利用ください!



## お申込みの流れ



ステップ1

利用したい体験・  
メニューを決める



ステップ2

専用ページから  
申し込む



ステップ3

申込内容の  
確認



ステップ4

利用内容確認書を  
送付します

## アート・サイエンススペース

さまざまなジャンル、メニューの工作体験を週替わりで楽しめます！



おしゃれ♡アート



スライムづくり

アート・サイエンススペースでは、子どもの発達年齢を意識した創作活動を週替わりで提供しています。身近な科学を楽しむ「実験サイエンス!」や少し高度な工作「おしゃれ♡アート」のシリーズはリピーターも多く、子どもの創造する力を引き出す内容になっています。また、特技・専門性をもつボランティアや地域の専門家と協働した「電子工作」、プロの陶芸家による「おちゃわんづくり」は人気です。

令和5年度は、テーマを決めてみんなで一つのものをつくる共同制作「えのぐでおえかき 巨大恐竜をみんなでつくってぬろう!」を行う予定です。



陶芸教室



電子工作



## プレイランド

さまざまな難易度のクライミングコースで子どもたちの挑戦心を刺激します！

### 第17回クライミング選手権 令和5年2月19日(日)

運営協力 三重県山岳・スポーツクライミング連盟、KO-CLIMB

協賛 ガイドービバレッジサービス株式会社

後援 三重県

日頃の成果を発揮する「クライミング選手権」。この日のために一生懸命練習してきた小・中学生29人が3つのクラス（トラバース低学年、ボルダリング初級、ボルダリング上級）に分かれて挑戦しました。

力を発揮できた子、うまくいかず悔し涙を流す子、それぞれに大きな経験になったようです。子どもたちからは、「去年よりたくさん登れてうれしかった」「もっとがんばろうと思った」「(スタッフが)『いけるよ』とか『がんばれ』って言ってくれてとてもよかった」などの声がありました。

目標を持つこと、何かに向かって頑張ることの大切さを実感し、達成感を得られる場となるようブラッシュアップしていきます。



トラバース低学年クラス



ボルダリング上級クラス



ボルダリング初級クラス

## 舞台スペース

毎月「家庭の日」に家族で楽しめるイベントを行っています！

### 家庭の日特別イベント「よむ、きく、あそぶ」

みえこどもの城では毎月第3日曜日、「家庭の日」にあわせて特別イベント「よむ、きく、あそぶ」を開催しています。季節に合わせた絵本の読み聞かせと工作、運動遊び、公園内での自然観察など、乳幼児から大人まで楽しんでくれています！

みえこどもの城での交流で家族や友達との関係がより深まるようなイベントを毎月行っています。



4月のテーマ たんぼぼ  
(工作とたんぼぼ探し)



8月のテーマ 川と海  
(運動遊び)



12月のテーマ クリスマス





令和4年度

# 公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団決算報告書

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:千円)

科目	金額
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	41,746
2. 固定資産	387,472
(1) 基本財産	290,260
(2) 特定資産	95,642
(3) その他固定資産	1,570
資産合計	429,218
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	15,306
2. 固定負債	15,104
負債合計	30,410
<b>III 正味財産の部</b>	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	349,675
(うち基本財産への充当額)	290,260
(うち特定資産への充当額)	59,415
2. 一般正味財産	49,133
(うち特定資産への充当額)	21,123
正味財産合計	398,808
負債及び正味財産合計	429,218

## 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:千円)

科目	金額
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	1,509
特定資産運用益	144
受託金	146,595
事業収益	22,228
その他収益	10,631
経常収益計	181,107
(2) 経常費用	
事業費	155,245
児童健全育成事業費	125,137
児童健全育成拠点事業費	12,153
青少年育成事業	12,736
三重県委託事業費	990
収益事業費	4,229
法人管理費	12,874
経常費用計	168,119
評価損益等調整前当期経常増減額	12,988
損益評価等計	0
当期経常増減額	12,988
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	12,988
一般正味財産期首残高	36,145
一般正味財産期末残高	49,133
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
一般正味財産への振替額	-9,304
当期指定正味財産増減額	-9,304
指定正味財産期首残高	358,979
指定正味財産期末残高	349,675
<b>III 正味財産期末残高</b>	398,808

## 理事長交代のご報告 (令和5年6月24日付)

このたび、5年間理事長を務めてまいりました福田圭司が退任し、新理事長に常務理事の中山恵里子が就任いたしました。当財団はこれまで、地域の皆様とともに、子どもや若者の育ちを支えるための取組を進めてきました。

これからも、子どもたちに一つでも多くの興味・関心の種を届けること、子どもの力を信じてその成長を見守り支えることのできる大人を増やすこと、そして子どもと大人が「タテ・ヨコ・ナナメ」たくさんの関係でつながることのできる社会の実現をめざしてまいります。

関係の皆様には新体制においてもこれまでと変わらず、財団の運営、取組についてご理解・ご協力をいただくとともに、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和4年度 みえこどもの城の改善活動について

みえこどもの城では、新型コロナウイルス感染防止の観点や皆様からいただいたご意見を参考に、様々な改善活動に取り組んでいます。

令和4年度は、以下の4つについて、改善しました。

※三重県施行分含む

### 施設・設備の大型リニューアル

ドームシアター プラネタリウムが新しくなり、名前が『SWS西日本キッズシアター』になりました

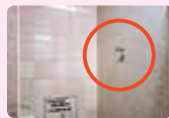


館内のエレベーターが新しくなりました



### その他

各階のトイレに荷物かけを取り付けました



イベントホール入口と舞台スペース入口に照明を取り付けました



## 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団からのご協力をお願い

皆様からのご寄附により、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団の活動が一層充実します。

当財団が実施している次世代の三重県を担う児童・青少年の育成に関する様々な事業は、事業収入及び三重県立みえこどもの城の指定管理料によって運営しています。個人・法人を問わず幅広い皆様からのご支援をいただくことにより、一層の事業の拡大・充実を図ることができます。

是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

### 寄附金の税の優遇措置

当財団は三重県知事から「公益財団法人」としての認定(平成24年4月1日移行)を受けています。

公益財団法人は税法上の「特定公益増進法人」に該当し、当財団が実施している公益目的事業を支援するために支出された寄附金については、税法上の優遇措置が受けられます。

〈詳しくは、税務署にお尋ねになるか、国税庁のホームページ(<https://www.nta.go.jp/>)でご確認をお願いします。〉

